

平成 30 年度・第 3 期ピアサポーター養成事業の報告

今期は第 4 回講義も行いました。講義名・講師などは別紙を参照ください。

参加者数は、第 1 回 26 人、第 2 回 24 人、第 3 回 25 人、第 4 回 28 人で、修了証交付者（4 回とも参加した人）は 14 人でした。

患者・家族や支援者にとって役立つ講座となっています。

各回ごとの感想文をいただき、愛難連理事会と各講師で共有し講座内容の向上を図っています。

難病カフェや、病院での難病サロン活動など、講座受講者が実践できる環境づくりが求められています。

感想文から（抜粋）

- 様々な年代の、多様な活動をされている方と、学びのテーブルにつけて勉強になりました。
- 私自身が欲しかった「共感」というワードが出てきたことに、やはり難病と診断された方の多くはそれを求めているのだと認識することができました。
- グループワークで参加者との交流もあり、とても分かりやすく楽しく受講することが出来ました
- 傾聴、共感、我慢、受容とどれもたやすい事では有りませんが、講座に参加する事で、考える時間をもち、少しずつでも理解を深めていけたら良いなと思っています
- 「セルフヘルプグループの限界」は今後仮に自分がグループを運営するとした場合にぶつかる、または陥るであろうこととして知ることができ役に立ちます
- 今まではどちらかと言えばサポートよりレスキューを主体に考えていたような気がします。サポートするには忍耐が必要だと感じられました。
- 手術を控える身として、制度を知って生きやすくなったと思います。
- どこか本当にピアサポーターとして活動できる場所があれば、活動したいなと思っています

日時・テーマ・講師など

第 1 回 日 時 9 月 15 日（土）13：00～16：00

テーマ ピアサポートとは何かをもう一度理解しよう

講 師 ソーシャルワーカー・サポートセンター名古屋

（前金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科教授）

浅野正嗣 先生

第 2 回 日 時 10 月 6 日（土）13：00～16：00

- テーマ 相談者から安心と信頼を得られる
「傾聴」など、ピアサポートの実践的知識
- 講 師 公立大学法人名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授
山中 亮 先生
- 第3回 日 時 11月11日(日) 13:00~16:00
- テーマ 難病患者の相談に応じるための社会保障
- 講 師 名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター
医療ソーシャルワーカー主任
粕田剛資 先生
- 第4回 日 時 12月1日(土) 13:00~16:00
- テーマ 難病の分類と予後についての基礎知識
- 講 師 愛知医科大学病院医療福祉相談室
医療ソーシャルワーカー
村居 巖 先生

会場は、4回とも名古屋都市センター(金山)会議室でした。

なお、本講座開催には愛知県、名古屋市からのご後援と、名古屋市社会福祉協議会様の「地域福祉リーディングモデル事業」助成金をいただいています。